

サンフレンズ善福寺の小火についてのお詫び

社会福祉法人サンフレンズ
理事長 大友 信勝

日頃から、当法人の事業運営にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

11月7日（水）午後9時過ぎ、当法人が事業運営をしております特別養護老人ホームサンフレンズ善福寺の地下厨房から小火を起こす事故が発生いたしました。

この事故は、厨房の業務終了後に発生いたしました。原因は、通常業務としてスポンジたわしの煮沸消毒を行うのですが、電磁調理器の上に、スポンジたわしと水を入れたステンレス製の洗い桶を置き、煮沸消毒を行ったまま、厨房の職員が電磁調理器の電源を切らずに退勤したため、洗い桶から煙が発生したものです。

煙探知機が厨房内に広がった煙を感知して火災報知器が鳴り、駆けつけた職員が電磁調理器の電源を切り、消火器と放水で初期消火にあたり、鎮火いたしました。また、自動通報装置の連絡を受け、すぐに消防署および警察関係者が駆けつけ、完全に鎮火していることを確認しました。ご利用者、職員に怪我はありませんでした。

小火とはいえ、消防車7台のほか、救急車やパトカーが同じ時間帯に到着しましたので、近隣の皆様には相当のご不安を与えてしまいました。小火を起こしたことは、法人の社会的責任を考えると、重大かつ深刻な問題と受け止めています。

施設の管理は、ご利用者の安全を預かっている法人の重大な責務です。サンフレンズ善福寺のご利用者やご家族、近隣、杉並区等の関係者の皆様には多大なご迷惑をお掛けいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

今後、法人の総力をあげて防災の徹底を図るとともに、早急に再発防止策を構築し、信頼回復に努めてまいりますので、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

サンフレンズ善福寺の小火のその後の報告

11月7日(水)

<ご利用者のご家族への連絡>

完全に鎮火後、不調を訴えるご利用者がいないことを確認しました。そして、ご利用者の就寝後となる午後10時30分頃から、ご家族に電話で報告いたしました。

11月8日(木)

午前中に前日、報告できなかった一部のご家族とケアマネジャーに報告いたしました。また、近隣住民の皆様には直接お詫びに伺いました。お詫びに伺えなかった方には、謝罪文を郵便受けに入れさせていただきました。

その後

<厨房について>

消防署、設計会社、設備管理業者等が現場を確認し、一部の厨房機器の内部に消火器の粉が入った以外は、特に問題はないと判断しております。そのほかの厨房機器は使用できますので、ご利用者への食事提供は通常どおり行っています。

小火の原因となりました煮沸消毒は、即日中止しています。現在は、塩素で消毒する方法を採用しています。

サンフレンズ善福寺は、地域のご理解のもと、本年8月1日に開設いたしました。開設してから3か月余、本来であればご利用者、ご家族だけではなく、地域の皆様にも安全と安心、信頼をいただく大切な時期にこのような事故を起こしてしまいましたこと、重ねてお詫び申し上げます。

このたびのサンフレンズ善福寺の小火の件で、気になる点・不明な点、ご意見等ありましたら、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

<連絡先>

社会福祉法人サンフレンズ 本部事務局
〒167-0023 杉並区上井草3-33-10
TEL:03-3394-9833 FAX:03-3394-9834
E-mail:kamiigusa@3friends.or.jp
本部事務局長 飯田 勤

特別養護老人ホーム サンフレンズ善福寺
〒167-0041 杉並区善福寺3-27-11
TEL:03-5303-0756 FAX:03-5303-0757
E-mail:3f-zenpukuji@3friends.or.jp
施設長 藤山 邦子

オンブズマンからの報告



ふれあいの家での軍歌プログラムについて・・・

8月13日、オンブズマン事務局宛に電話にて、ふれあいの家での軍歌プログラムに対する苦情がありました。その後、ふれあいの家職員とご利用者で話し合い、また、管理職会議、理事会でも検討・協議を行いました。

苦情をお寄せいただいた方は、文書等による回答を希望されませんでした。法人として苦情をオープンにし、皆様にもご意見を寄せていただきたく、ここに報告させていただきます。

苦情内容について

和泉ふれあいの家デイサービスから8月のプログラムを受け取りましたが、その中に軍歌がありました。

この時期は、憲法第9条改正論、戦争のこと、国会議員の原爆発言問題等、社会的にも話題になっているところです。

ご利用者の中にも、軍歌に対して嫌な思い、拒否する方がいらっしやると思います。

サンフレンズの理念に掲げている「民主的に取り組む」の姿勢とは、相反しているのではないのでしょうか。

事を大きくするつもりはありませんが、是非この思いを伝えたかったので連絡しました。

理事会での協議内容

軍歌については、法人としての考えが問われていると受け止めています。

私たちは、利用者のその人らしさをどのように引き出すか、という尊い仕事をしているにも関わらず、軍歌を歌うことで人を殺める文化を盛り上げたり、その一翼を担うことがあってはなりません。また誤解を招いてもなりません。

個人として軍歌が好きで、ご利用者が自然と軍歌を歌うことを否定するものではありません。ただし、施設全体のプログラムで軍歌

を歌うということがあってはならないと考えます。

「法人としては、戦争を肯定するような事業計画・プログラムは行わない。利用者や家族、第三者に誤解を招くような事業計画・プログラムは行わない」ということを確認し、取り組んでいくことにしました。

オンブズマンより

理事会での協議結果と同じですが、軍歌が個人的な回想、感情、回帰の意味があるとともに、軍歌そのものが偏ったイデオロギーや人間観に染まっています。

プログラムの内容が、ご利用者の同意のもとに企画されたとは言え、サンフレンズは「声に出して言えないご利用者、ご家族がどのように思い、どのように受け止めるか」にセンシティブ（繊細・敏感）でなければなりません。これらのことは、戦争の負の部分が消そうとする動きが高まってきている現在、サンフレンズが社会問題となる事柄にどのように向き合うか＝法人の姿勢でもあるので、慎重に対応しなければなりません。

少数であっても一人であっても、その声に耳を傾け、弱い立場になりやすいご利用者の意見を拾い上げ、汲み取ることに一層の努力をしてください。

法人より

オンブズマンは、ご利用者・ご家族の代弁者となります。法人として、上記の意見を真摯に受け止め、「ご利用者のためのサービス」提供に努めてまいります。

また、一つの苦情を「宝」とし、今後の法人運営に生かしてまいりますので、ご利用者・ご家族の皆様、どんなことでもかまいません。気になることがありましたらご意見等いただけますようよろしくお願いいたします。



法人への寄付金を賜り、厚く御礼を申し上げます。

(2007年9月 1 日から10月31日までにご寄付をいただいた順に掲載)

森山千賀子様・川合美智子様・匿名希望2名様

前回9月号寄付金者一覧の中で、名称に一部誤りがありました。

(誤) 日本コンチネンス協会 → (正) コンチネンスジャパン(株)と訂正させていただきます。
大変、申し訳ありませんでした。

ボランティア紹介 第26回

「パパマジカル・ショー」のみなさん



今月は、永福ふれあいの家にボランティアに来られている「パパマジカル・ショー」のみなさんをご紹介します。写真中央で、口からトランプを出しているのが、リーダーでマジシャンのパパマジカルさん、右側がフラダンスのキーさん、左側がアカペラ歌手の森田さんです。「パパマジカル・ショー」は、この3人を中心に編成されています。他にも、パントマイムや南京たますだれ、また、三味線やジャズギター、ピアノの連弾等を演奏する多くのメンバーがいます。ちなみに、キーさんはパパマジカルさんのお嬢さんです。

パパマジカルさんは、亡くなられたお父様の遺品にマジックの道具があり、触れているうちに、自分でもやってみようと思い、マジックを始めました。ステージでの軽妙なトークや自信にあふれた立ち居振る舞いとは裏腹に、パパマジカルさんはもともとあがり性でした。人前で何かすることなどできませんで

した。それでも、友人知人の前や宴席などでマジックを披露するうちに、人を楽しませることの魅力にとりつかれたそうです。そして、いろいろな公演先で知り合ったメンバーと「パパマジカル・ショー」というグループを結成するまでになりました。

「パパマジカル・ショー」のみなさんは毎月4回から6回、いろいろな施設で公演をしています。多い月には、10公演におよぶこともあります。メンバーそれぞれが仕事を抱えながらも、訪れる先で出会う観客の笑顔に支えられて、ステージを続けています。これからも、私たちに楽しいステージを届けてくれることでしょう。「パパマジカル・ショー」のみなさん、次回公演を楽しみにしています。

サンフレンズだより・ホームページへの
ご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話:3394-9833

FAX:3394-9834

担当:坂本・藤谷・星

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E mail アドレス

Kamiigusa@3friends.or.jp

